

TOPICS.1 江戸の伝道師 うめ吉	P01-02
TOPICS.2 四半世紀という節目を迎えた、日本舞踊鑑賞会	P03
TOPICS.3 言葉の壁を超えた芝居 Ant Man	P04
EVENT GUIDE	P05-08
What's Next 2008年前半イベントラインナップ	P09-10
EVENT SCHEDULE	P11-12
REPORT 第9回自分史シンポジウム「旬は、今」	P13-14
コンドルズ「SKY HIGH」 / ギター・デュオ いちむじん	
INFORMATION	P15



江戸の伝道師



俗曲師・うめ吉の

愛知県“初”単独ライブを開催

つかの間の

「江戸時代タイムスリップ」

三味線の音色とともに楽しんでみませんか。

今日では、馴染みのない職業“俗曲師”。日本中を見渡しても、プロの俗曲師は10人に満たないといわれる。その中で、一番の若手がうめ吉さんだ。ちなみに、俗曲師とは『三味線を弾きながら江戸時代から戦前までの流行歌、民謡、都々逸、端唄を、寄席などの席で弾き語りする人』。何故そんな珍しい職業をうめ吉さんは、目指したのだろうか？「幼い頃はピアノやクラシックバレエを習い、和の世界とは無縁でした。高校生で進路に悩み、東京へ飛び出したそんなある日、新橋の芸者衆が踊る“東をどり”を観て、カルチャーショックを受けたのです。私は、日本のことを全然知らない外国人だったのかも、と思うほど強烈で、素敵に日本人になりたいな、と思いました。」

そこでうめ吉さんは芸者を志すが、周囲の反対にあう。しかし和の世界への憧れは捨てられず、三味線を習い始めた。「東をどりの印象から最初は日本舞踊を習おうと思いました。しかし、音楽を知らなければ踊れる筈がないと思い、三味線を習うことにしました。今は三味線ブームですが、当時は習おうにもどこへ行けばよいのかわかりません。そこで近所の三味線屋さんにいる

いろ教えていただきタウンページでお師匠さんを探しました。」

お稽古に夢中になったうめ吉さんは、プロの三味線奏者、寄席のお囃子さんの存在を知る。そのお囃子さんになるべく、国立劇場の寄席囃子研修生となった。しかし、三味線は奥が深い楽器で、簡単に奏でられるわけではない。うめ吉さんは、当時のことをこう振り返る。「苦労というよりも、全てが新鮮で、知ることが楽しく思えました。もともと西洋のことが好きでやってきたものですから、初めの頃は、三味線音楽を五線譜に直して覚えていたこともあります。でもそれには限界があるんです。西洋音楽に浸ってきたせいも、数学的に割り切ろうとする癖があり、日本の音楽の、割り切れない、表記しきれないものへの戸惑いがありました。自分の物差しでは計りきれない自由な音楽が日本にあったんだ、ということを知るのに時間がかかりましたね。今でも、日本の音楽特有の間や空気を作る、自由な身体、自由な感性を磨くようにしています。」

やがて「この子を表に出してみたら。」という松山さくら師匠の一言で、うめ吉さんの寄席デビューが決まった。「師匠は大変厳しい方でし

インタビュー

素敵な日本人になりたい・・・
うめ吉流 江戸スタイルの真髄に迫る！



だからこそ、うめ吉さんにはこだわりがある。まずは音。「昔の人にしか出せない味のある音に近づきたい、棒を細くしてみたり、戦前のレコードを聴いてみたり、試行錯誤しています。」さらに、着物。「衣装としての着物ではなく、普段から着物を着ています。着物じたいもアンティークのお店をまわって選んでいます。古い着物を着ると、気持ちがしっとりするんです。」

たし、お囃子ではなく、高座に上がる芸人にする、ということなので、不思議に思いました。その直後、師匠が倒れ、不安なひとり立ちとなりました。」

そんな試練も乗り越え、古き良き日本の姿を追い求めるうめ吉さん。現在も日々、高座にあがっている。「江戸落語の寄席で重要なのは、お客さまは江戸にタイムスリップしている、ということです。その流れを壊さず、視覚的にも音楽的にも楽しんでもらえる俗曲師であることを心がけています。」

このこだわりこそが、うめ吉さんのクリエイティビティーだ。昔の人が日常的に楽しんできた文化や生活様式をとことん追求した上で、自らが江戸の伝道師となり、邦楽の間口を広げる役目を担っている。

今回の春日井公演は、愛知県で初めての単独ライブ。「名古屋は芸どころで、都々逸発祥の地でもあり、緊張しています。江戸時代のJ-POPから昭和歌謡まで、素晴らしい日本の歌を多くの方に聴いていただければ嬉しいです。」

さあ、うめ吉さんの音楽と共に、江戸に思いを馳せてみよう。

うめ吉 profile — <http://www.satob-k.co.jp/ume/>

俗曲師。岡山県倉敷市出身。新橋演舞場で初めて観た「東をどり」に衝撃を受け、本格的に三味線を習い始める。国立劇場の寄席囃子研修生8期生として2年間の研修を経て、落語芸術協会に入会、新宿末広亭などでプロのお囃子として活動開始。お囃子として活動する傍ら、端唄を松山さくらに師事。2000年に俗曲師として寄席デビュー直後より早くも「ひざがわり」(トリの直前)の色物として扱われるなど、久々の若手俗曲師の出現として注目を集める。現在は寄席の高座やお座敷のほか、コンサート、イベント等にも精力的に出演。5都市8箇所の全米ツアーやフジロックフェスティバル等にも出演、話題となる。現在、8枚のCDアルバムとDVDをリリースの他、エッセイの執筆等、活動は多岐にわたっている。

第46回かすがい芸術劇場 うめ吉 トーク&ライブ

2月24日(日) 14:00～(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・祝聴堂ホール

[料金] 全自由席 ※当日券あり
一般 ¥2,000、シニア(60歳以上) ¥1,800
PIPi会員 ¥1,800、シニア(60歳以上) ¥1,300
[取扱い] 文化フォーラム春日井・祝聴堂ホール
代金引換、チケットぴあ(050-776-730) ※チケットぴあではシニア券の取り扱いがありません。



坂東流の魅力



今では200以上も流派があると言われる日本舞踊。その中でも5大流派と呼ばれる流派を、皆さんはご存知ですか？花柳流、藤間流、若柳流、西川流、そして坂東流。日本舞踊は歌舞伎の振付師を流祖とする流派と、舞踊に傑出した歌舞伎俳優を流祖とする流派があります。西川流、藤間流などは前者の代表的な流派、そして坂東流は後者を代表する流派です。

江戸歌舞伎きっての踊りの名手として、多くの名作を残した三世 三津五郎に始まる坂東流は、作品を、常に演劇的にとらえ、“演じる”ことを大切に扱うところに特徴があります。いまも日本舞踊のレパトリーとして広く親しまれている「傀儡師」「玉兎」「汐汲」「まかしよ」「源太」などの多くが三世 三津五郎が初演したものです。その後、三世、四世…と、それぞれが個性的な舞踊活動を行っていきましたが、明治の時代になり、「踊りの名人」と言われ重要無形文化財保持者(人間国宝)となった七世 三津五郎により、近代坂東流としての歩みが始まりました。古い伝統に培われた坂東流は、折目正しくいたずらに時流に流されないところが最大の魅力と言われています。

日本舞踊鑑賞会は、今まで名だたる各流派の名手をゲストにお迎えし、四半世紀にわたって開催してきました。

今回25回目を記念して、坂東流家元・坂東三津五郎が登場します。

伝統と格式を現代に伝える三津五郎の舞を、是非ご覧ください。

第25回日本舞踊鑑賞会

好評発売中!

3月2日(日) 13:00~(開場は30分前)
春日井市民会館

[料金]全自由席 ※当日券同額、未就学児不可
一般¥4,000 PiPi会員¥3,500

[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換

[出演]坂東三津五郎(特別ゲスト)、春日井市日本舞踊協会

[主催](財)かすがい市民文化財団/春日井市日本舞踊協会

25 HISTORY

四半世紀という節目を迎えた、日本舞踊鑑賞会。

春日井市内に在住の日本舞踊家とともに、雅やかな舞台を披露してきた、日本舞踊鑑賞会。

そこで、これまでの歴史を一部ご紹介します。日本舞踊の大家たちが、春日井の舞台を彩ってきたのです。

記念すべき第1回目の日本舞踊鑑賞会は、春日井市日本舞踊協会が発足した翌年からスタートした。特別ゲストには西川流三世家元であり、「名古屋をどり」の演出・プロデュースを担う、西川右近を迎え、華々しい幕開けとなった。

1

10回目を迎えた日本舞踊鑑賞会では、1999年に重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された、西川扇藏を特別ゲストとして迎えている。この頃から、ゲストの写真を配したチラシが作成されるようになり、注目を浴びた。

10

大阪で生まれた山村流「上方舞」の名手として活躍し、「素人名人会」のレギュラー審査員としてもお茶の間に親しまれた山村楽正をゲストに迎えた第12回。自分の命を顧みず子を思う母性愛が見所の『珠取海女』を舞った。

12

高度な技法を要する素踊りの名手で、67年から23年間も続けた「おどりを研究する会」で有名な花柳寿南海をゲストに迎えた第14回。寿南海は2004年、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されている。

14

20歳で吾妻流六代目家元を継承し、1979年には芸術選奨文部大臣新人賞(舞踊部門)を至上最年少で受賞した吾妻徳彌を特別ゲストに迎え、第19回日本舞踊鑑賞会が開催された。

19

「創作は伝統の一環であり、創作の無い伝統は無い」の持論を掲げて、独自の創作活動を展開する、尾上菊之丞を特別ゲストに迎えた第24回。「常磐津 廓八景」を披露し、観客を魅了した。

24



Ant Man 二匹の蟻のパラダイス

アントマン
構成/演出:岡本伸子 音楽:原ゆうみ
出演:近藤輝行(人形)、小林浩平(マジック)、原ゆうみ(ピアノ)、さがらまこと(役者)

好評発売中!

3月27日(木)
①14:00~15:50 ②19:00~20:50(いずれも開場は30分前)

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金]全自由席 ※当日券¥300増、3才未満入場不可

一般 大人¥2,500 こども(小学生~高校生)¥1,800

PiPi会員 上記金額の¥300引き

[取扱い]

文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、チケットぴあ(Pコード381-181)

[主催]人形劇団パン/みんなの木/(財)かすがい市民文化財団

[問合せ]

人形劇団パン ☎052-781-7412/(財)かすがい市民文化財団



言葉の壁を超えた芝居

Ant Man -アントマン-

アントマンの秘密をお聞きしました!

芝居・人形劇・音楽・マジック・マイム・映像など、さまざまな表現スタイルが交差するステージ“アントマン”。一体、どんな世界が目前に繰り広げられるのでしょうか？そのヒントを、少しだけ、演出家の岡本伸子さんと、出演者の近藤輝行さんにインタビューしました。

写真左:岡本伸子さん 写真右:近藤輝行さん



—この舞台を作ろうと思ったきっかけは？

岡本 たまたま、近藤さん、小林さんと3人で話をしている時に、万国共通のステージを作りたい、と意気投合したのです。言葉の壁を超えた芝居を作れたらなあ、じゃあ本当にやってみよう!とトントン拍子に話が決まり、出演者&スタッフ全員でワークショップを始めました。

—テーマが先にあったわけではなく、ワークショップの過程で、お芝居の構想が練られていった、ということですか？

岡本 そうですね。普通は、演出家自身が持っているイメージを、どう作品に反映させていくか、という手順で作られていくと思います。しかし、私自身はワークショップを通じて表現を生み出す活動を常日頃しているの、私に答えがあるのではなく、チームの一人ひとりが何を考え、伝えたいと思っているのかを引き出し、芝居として構成させていったのです。

近藤 それぞれが持っている表現を組み合わせせた形…私は人形劇、小

林さんはマジック、原さんはピアノを、言葉に頼らず、芝居にどう反映させるのか、ということを試行錯誤するために、ワークショップを重ねました。

—今回のお芝居“アントマン”の中で重要な「アリ」というキーワードは、どんなところから生まれたのですか？

岡本 現実を見ている視点や、ものごとの見方について話し合い、ワークショップを重ねるうちに、人間からみれば小さな存在である「アリ」の視点をモチーフとして使うことになりました。近藤さん、小林さん扮する二人のアリ男=アントマンが、どうしようもない奴等だったり、ナーバスだったり…多面的な要素をショートショート仕立てで展開させる、流れるようなお芝居です。

—最後に、お客さまへメッセージを。

近藤 もともと大人向けに作った“アントマン”。台詞もほとんどない芝居なのに、子どもたちは頭の中でそれぞれイメージを作りあげて、とても喜び、楽しんでくれています。ちょうど春休みなので、ご家族で是非ご覧ください。

美しく・やさしく奏でられる
ピアノ × 個性的な歌声
× 聴くものの心を揺さぶる詩＝
シンガーソングライター・タテタカコ

今の自分があるがままに、現実を直視していたい、と語る
タテタカコ。そんな彼女の叫びと癒し、それは観客である
私達の心をわしづかみにする。何があってもおごらない、
タテタカコという音楽家の全景を見てほしい。



力強さを秘めた、繊細な世界・・・
虚しさや割り切れなさと真摯に向き合う
自分だけの心の時間、持ってみませんか。



クライマックスで流れる
タテタカコの音楽に、心が震える。
2004年カンヌ国際映画祭 最優秀男優賞受賞
作品「誰も知らない」同時上映。

たくさんの映画が日々生まれ、足早に通り過ぎる中、この
作品は何度観ても、心の底に深く染みこんでいく。
長い時間をかけて構想されたこの映画は、きつと擦り切
れることがないだろう。

友の会PiPi特別企画 映画「誰も知らない」

4月19(土) ①10:00～②13:30～(開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[チケット情報]
PiPi会員電話先行予約日 2月2日(土)
一般発売 2月9日(土)～
[料金]全自由席 ※当日券同額、未就学児不可
一般 各回¥1,000 タテタカコ LIVEセット券¥3,000
PiPi会員 各回¥500 タテタカコ LIVEセット券¥2,500
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、
代金引換、チケットぴあ(Pコード281-715)

●映画「誰も知らない」 作品情報

監督:是枝裕和
出演:柳楽優弥、北浦愛、木村飛影、清水萌々子、
韓英恵、YOU、加瀬亮、タテタカコ、他
2004年/141分/カラー
都内の2DKアパートで母親と幸せに暮らす4人の兄妹。しかし彼らの父親は
みな別々で、学校にも通ったことがなかった。ある日、母親はわずかな現金と
短いメモを残し家を出る。この日から、誰にも知られることのない4人の子供た
ちだけの“漂流生活”が始まった…。1988年に起こった実際の事件をモチー
フにしたは枝裕和監督の最高傑作。

セリフや情景を
イヤホンで説明する、
シーンボイスガイド付



平成19年度 優秀映画鑑賞推進事業 名作シネマ鑑賞会

春日井市民会館

[料金]全自由席 ※当日券同額、中学生以下無料
一般 1作品¥500 1日券(9・10日のみ)¥1,200 4作品通し券¥1,600
PiPi会員 1作品¥450 1日券(9・10日のみ)¥1,000 4作品通し券¥1,300
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換
[主催](財)かすがい市民文化財団/文化庁/東京国立近代美術館フィルム
センター[協力]コミュニティシネマ支援センター

好評
発売中!

アトの春祭り

3月29日(土)、30日(日)
文化フォーラム春日井・交流アトリウム

[3月29日]
10:00～ 東海プロミネンス(合唱)
11:00～ カ・バ・フラ・オ・プアラニ・プアメリア
(フラダンス)
12:00～ トモ オカリナ アンサンブル
13:00～ 箏・三つ音会(箏・尺八)
14:00～ ベルッティーネ(ミュージックベル)
15:00～ おたまじゃくし(オカリナ・尺八)
16:00～ 日本民謡 志千会

[3月30日]
11:00～ コーラス「ハイジの部屋」
12:00～ 篠笛・美笛会
13:00～ MYギターアンサンブル春日井
14:00～ デカ・シータ(オカリナ)
15:00～ ハーモニックアンサンブル
シャイン ハーモニー
16:00～ ロス・ドミンゴス(ギター)

アトの夏祭り・秋祭り 出演団体募集

[抽選会]2月28日(木) 19:00～
[抽選会場]文化フォーラム春日井・会議室
[運営協力費]1グループ¥5,000
[応募方法]
①申込書に必要事項を記入し、2月21日(木)ま
でにFAX(0568-82-0213)してください。
②抽選会にご参加ください。日時を決定します。

■アトの夏祭り 6月21日(土)～22日(日)
■アトの秋祭り 9月13日(土)～15日(月・祝)
文化フォーラム春日井・交流アトリウム



オペラ界の歌姫
マリア・カラスの生きざまを
お見逃しなく!

マリア・カラスを演じるのはフラン
スが誇る大女優、ファニー・アル
ダン。絶頂期のカラスの歌声を
使用した、劇中で演じられるカ
ルメンは圧巻の一言です。名
優の熱演を体感してください!



第47回「永遠のマリア・カラス

監督:フランコ・ゼフィレリ
2002年/108分/カラー・日本語字幕
イタリア・フランス・イギリス・ルーマニア・スペイン合作

3月16日(日) 14:00～(開場は30分前)

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金]全自由席 ※当日券同額 3才以下
一般¥1,000 ペア券¥1,700
PiPi会員¥800 ペア券¥1,400
[取扱い]
文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、
代金引換、チケットぴあ(Pコード281-715)
★セリフや情景をイヤホンで説明する、シーンボイスガイド付



LIVEと映画、 同時に体感できる2日間。

タテタカコのLIVEと、彼女が出
演・挿入歌を担当する映画「誰も
知らない」を2日間連続で開催。
チケットも、ニーズにあわせて選べ
るようにご用意しました。

PiPi
2/2(土)
発売!

→LIVE+映画のセットで
お得なチケットもご用意。

入場料	一般	PiPi会員
LIVEのみ	2,500円	2,200円
映画のみ(1回)	1,000円	500円
LIVE+映画	3,000円	2,500円

※チケットぴあの取扱いはLIVEのみです。

次号FORUM PRESS vol.25では、
タテタカコのインタビューを掲載。
お楽しみに。

第19回春日井市ピアノコンクール 受賞記念演奏会

3月23日(日) 13:30～(開場は30分前)
春日井市東部市民センター・ホール

第19回春日井市ピアノコン
クール入賞者と、本選会ゲ
スト審査員も務めた仲道
祐子氏(ピアニスト)によるコ
ンサートです。

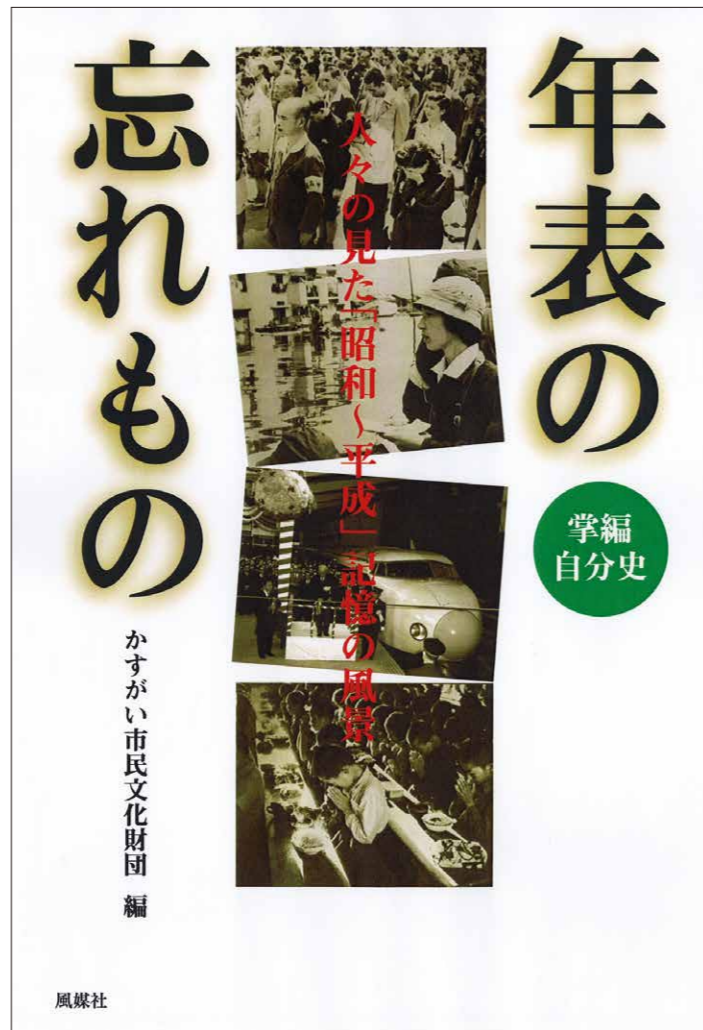


[料金]全自由席 ¥1,500
※当日券同額、3歳未満入場不可

[取扱い]
文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、
代金引換、東部市民センター
[主催]春日井市
[主管・問合せ](財)かすがい市民文化財団
[後援]中日新聞社、中部日本放送
[協賛]ヤマハ株式会社名古屋事業所、
株式会社河合楽器製作所中部支社

掌編自分史全国公募 『年表の忘れもの』 予約受付中！！

ページをめくればめくるほど、もっと読みたくなる・・・。
戦争を経て、夢に満ちた高度成長期、そして混迷の時代まで！
年表のすきまを埋める多くの事件、
風俗や流行と重なる小さな暮らし、
政治・経済に翻弄された日々など、
40人の“記憶の旅”を選びすぎり、収録しました。



【編集】(財)かすがい市民文化財団 【発売】風媒社 【定価】¥1,575(税込)
【取扱い】文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、代金引換、
各書店 (ISBNコード978-4-8331-3149-0)

収録作品 一部ご紹介

- 『戦時下の満州女学生生活』池田貞恵／東京都
戦時下の満州の女学生生活をていねいに描く作品。
- 『広島が燃えているう〜』中崎光男／春日井市
原爆投下直後の騒然とした教室の雰囲気を、冷静に描写。
- 『青春は紡績会社』杉浦節子／愛知県
繊維業の活況に生きた青春。紡績女工としての労働を「時代」とともに淡々と書く。
- 『ある夏の日に一飛驒川バス転落事故の記憶』谷澤りつ子／春日井市
東海道新幹線開通、東京オリンピックなどで湧く高度経済成長期の主婦の意気込みと生活、突然の飛驒川バス転落事故。
- 『ジョン・F・ケネディの死』田中壽一／春日井市
60年代の象徴的なひとコマ。苦い体験を素直に「時代」と「体験」を交えて。
- 『チェルノブイリ原発事故医療協力プロジェクトに参加して』岡島俊三／愛知県
国際貢献の貴重な体験を執筆。展望も書かれた作品。

年表の行間には、宝ものが埋まっていた！

“人生というノンフィクション”から選りすぐりの40編を収録。

自然災害や大事件など、社会を揺さぶった歴史の流れを表にあらわしたものが「年表」であるが、この本では、年表の行間にある人びとの営みを拾い出した。中にはさまざまな「実話」がある。少年の眼から見た二・二六事件、農村への空襲で焼死んだ牛を、兵隊が食料として徴用してしまった話。マイカー時代の幕開けに、犠牲となった幼い命がある一方で、主婦が一念発起して自動車免許を取得、世界を広げた家庭もある。オイルショックによる会社の危機に、技術を尽くして立ち向かった男たちのドラマもある。

多岐に渡る経験談の数々は、「年表」以上に、歴史の真実を伝えてくれる。それは、話の一つひとつが、経験を咀嚼し、自らの言葉で綴った、確かな真実だからであろう。歴史学では、個人の体験記は「庶民史」として、近年注目を集めているという。この本は、そんな価値ある隠れたエピソードを集め、史実にまつわる物語を年代順に記した、いわば「みんなの歴史書」。懐

かしくもありながら、一人ひとりの経験がまとまることで時代性が浮き彫りになる、珍しい本だ。

本書では、昭和初期から現在に至るまでを、4つの章にまとめている。第1章は、戦争という悲惨な体験をした人が年々少なくなる中、さまざまな年齢や地域から戦争を証言した貴重な記録。第2章は、戦争の残像と復興へと向かう生活が描かれ、続く第3章は、若者や労働者の視点から経済成長が振り返られ、激動に戸惑いながらも生き抜いた知恵と自信を教えてくれる。時は移り安定社会が築かれた第4章では、自分らしく人生を拓きたいと願う、誰もが歩む人生の道程が見えてくる。

最初は好奇心が先だが、読むうちにジワリとした感動を感じる。それは、懐古趣味や同情ではなく、昭和から平成を生き抜いた努力への共感。そして、日本の歴史の光芒が俯瞰されるからだろう。ぜひ一読を。

春日井の二大茶室を巡り、 茶の美意識を体感しよう。

お茶は日本の総合芸術。
茶室を鑑賞しながら、茶室建築の特徴と茶室での振る舞いの基本を学びます。
この講座で解説したポイントを覚えれば、これまで敷居の高かった茶室や茶会でも、「通」として振る舞えるかも…。
毎回おいしい和菓子とお薄^{うす}が頂けます。



1日目 中部大学・工法庵／爛柯軒

茶室の全体像を、露地や間取りから捉える

数寄屋門から緩やかな坂道が茶室へと続く中部大学の隠れスポット。滝つぼへと向かう小道は、散策コースとしても魅力的。大学内にあるとは思えない、静寂に包まれた古建築で、茶室の構造を観察します。



2日目 文化フォーラム春日井・和室

茶室の細部に宿る、入魂の技(わざ)を味わう

春日井唯一の名茶室は必見！ 一番の見どころは、屋久島の杉の一枚板を使った待合の腰掛。茶室施工の経験豊かな技能士が、隠れた技法とその訳を解説する。この機会に心ゆくまで観賞しよう。

日本自分史センター ボランティア募集

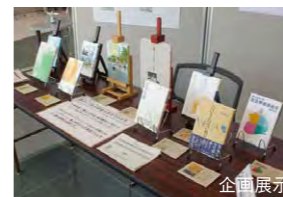
自治体で唯一の自分史に関する専門施設・日本自分史センターで、蔵書整理、企画展示、講座アシスタントなど、運営のお手伝いをしてくれる方(無償)を募集しています。



蔵書整理



書架整理



企画展示

【応募方法】
郵送、FAXまたは持参。
申込書に必要事項を記入。
※申込書は文化フォーラム春日井で配布中。
※財団HPからもダウンロードできます。
【応募先】
〒486-0844 春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井
(財)かすがい市民文化財団
「日本自分史センター ボランティア」係
FAX.0568-82-0213

自分史相談

毎週火曜・金曜 13:00、14:00、15:00、16:00から45分間



日本自分史センターでは、豊富な知識を持つ専門の相談員が、親身になって自分史の制作をサポートします。相談は無料、個別対応なので安心。お気軽にお電話にてご予約ください。

【予約】お電話にて受付 TEL.0568-85-6868
【相談員】火曜・安藤紀夫、金曜・平岡俊佑



KA・BU・KI

今年も松竹大歌舞伎が春日井にやってきます!
NHK大河ドラマ「風林火山」で武田信玄を演じた市川亀治郎らが白波五人男でお目見え!

ドラマ収録を終えるやいなや、新春浅草歌舞伎、博多座二月花形歌舞伎と多忙を極める亀治郎は、スーパー歌舞伎の伯父・市川猿之助を筆頭とする名門・澤瀉屋の御曹司。この1月に放送された、MBS系列「情熱大陸」でのユニークな素顔が記憶に新しい亀治郎。さらに、父・市川段四郎も登場し、ますます充実の松竹大歌舞伎。見逃せません。

[会場]春日井市民会館 [開催日]7月20日(日)昼夜2回
[チケット情報]

- PiPi会員先行予約専用はがき締切日…4月10日(木)
※専用はがきは、2月末にH20年度PiPi会員のみに送付。
- 一般電話先行予約日
(チケットぴあ特電&文化フォーラム春日井)・4月24日(木)
- 一般発売(窓口・電話)・5月8日(木)～

CINEMA

昨年度に引き続き、充実のラインナップを揃えて、
2ヶ月に1度、舞台芸術に関する映画をシリーズ上映!

[プログラム]3月に全6公演のラインナップを発表!
[開催月]5・7・9・11・1・3月を予定

Jibunshi

自分史シンポジウムを、今年も開催!
書く・読む・学ぶ、が充実の、自分史活動に注目を。

自分史相談、自分史講座・体験教室、自分史シンポジウム、そして全国から寄せられる自分史の企画展示…その多角的な切り口で注目される自分史事業、今年もますます幅広い視点で取り組んでいきます。今年こそは、と思うあなた、是非ご参加を!

- 自分史シンポジウム
[会場]春日井市民会館 [開催日]12月14日(日)



YOSUKE YAMASHITA SPECIAL BIG BAND CONCERT 2008

日本を代表する世界的なジャズピアニスト・山下洋輔と、
気鋭のトップ・ミュージシャン達により特別編成された
ビッグバンドによるコンサートを、7月に開催!

テイラーやコールマンらと並び、フリージャズの先駆者として知られる山下洋輔が、スペシャルビッグバンドで新たな境地を切り拓きます。メンバーには、エリック宮城、佐々木史郎(以上Tp)中川英二郎(Tb)を予定。最近では、東京オペラシティコンサートホールを満員にさせ、多くの観客を魅了した山下洋輔。その迫力の音楽をお届けします!

[会場]春日井市民会館 [開催日]7月中旬予定
[チケット発売]5月中旬予定

What's Next

さあ、2008年上半に開催するイベントを少しだけご紹介!
今年もパワフル全開で、みなさまに素敵なイベントをお届けします!

Contemporary Art

“人”をテーマにした現代美術展覧会を開催。
今、この時代の“人”のあり方を問う作品群。要チェックです。

人にとって最も身近でありながら、時に理解できない存在である「人」をテーマとし、人が人をつくるといふ行為の意味を探る展覧会。愛知県ゆかりの若手作家数名が作品を披露します。

[会場]文化フォーラム春日井・ギャラリー [開催日]11～12月予定
[チケット発売]9月下旬予定

Lecture

今年も引き続き、知識を高める様々な講座を開催!

- 芸術講座 美術コース
[会場]文化フォーラム春日井・視聴覚ホール [開催日]5月9日、16日、23日
[チケット発売]3月下旬予定 [講師]江本菜穂子
- 王朝女流日記の魅力 ～紫式部日記～
[会場]文化フォーラム春日井・会議室 [開催日]6月21日、28日
[申込み]5月予定 [講師]鈴木紀子
- エッセイ講座
[会場]文化フォーラム春日井・文化活動室 [開催日]7月～9月
[申込み]5月予定 [講師]芳賀倫子

Illustrator-Yuka Hamano

『13歳のハローワーク』『あの金で何が買えたか』(著:村上龍)の挿絵で有名な
イラストレーター・はまのゆかの展覧会を開催!



本の挿絵や装丁はもちろんのこと、自作絵本やイメージクリップの制作など、さまざまなジャンルで活躍する、イラストレーター・絵本作家 はまのゆかの個展を開催。
温かみのある優しい画に、
柔らかいタッチの淡い色彩で描かれる
“はまのワールド”をご堪能ください。

[会場]文化フォーラム春日井・ギャラリー
[開催日]5月10日(土)～25日(日)
[チケット発売]3月下旬予定



NODAME

春日井が全国に発信する“のだめ音楽会”第3弾。
今年は名フィルとともに!

年始の2夜連続スペシャルドラマでは視聴率21.0%をマークした“のだめカンタービレ”。クラシック音楽の素晴らしさを伝え続ける、あの“のだめ”に登場する音楽を、生のオーケストラで体感しましょう。今回のオケは名門 名古屋フィルハーモニー交響楽団。指揮の茂木大輔は、同団の初代音楽総監督の故・岩城宏之氏の“元・鞆持ち”とか…。20公演近くの全国ツアーも展開する予定です。

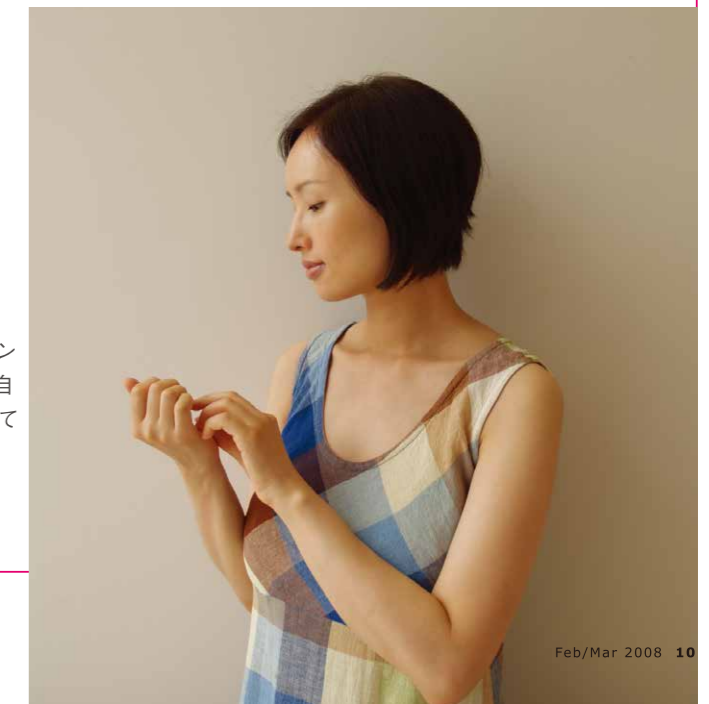
[会場]春日井市民会館 [開催日]8月下旬予定
[チケット発売]6月予定

Ann Sally

医師であり母でもある、音楽家 アン・サリー。
親子の絆、生命の尊さ、生きる喜びを包含する心情を表した
歌集「こころうた」を昨年発表し話題となりました。
そんな彼女のコンサートを6月に開催!

昨年6月から2ヶ月間、NHKみんなのうたにて「のびろのびろだいすきな木」がオンエアされ、活躍の幅をますます広げるアン・サリー。包みこむような温かい声、独自の表現力に多くの共感を得ている彼女のコンサートは、きっと生きる喜びを与えてくれるでしょう。

[会場]春日井市民会館 [開催日]6月14日(土)
[チケット発売]4月中旬予定



SCHEDULE 02/03

※掲載内容は1月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。入場料は前売価格です。当日は料金が異なる場合がありますので、必ず主催者までご確認ください。

開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
2月5日(火)～11日(月・祝)	本田美奈子 写真展	10:00～18:00(最終日17:00まで)	無料	春日井ライオンズクラブ事務局 ☎0568-81-8455
2月6日(水)～11日(月・祝)	平成19年度春日井市小中学校読書感想画優良作品展	9:00～17:00(最終日15:00まで)	無料	春日井市図書館 ☎0568-85-6800
2月13日(水)～17日(日)	春日井市造形研究会作品展	10:00～17:00(最終日16:00まで)	無料	東部中学校(吉田) ☎0568-81-2664
2月19日(火)～24日(日) [PR]	第15回パレットハウス「創寛会洋画選抜展」	10:00～18:00(最終日17:00まで)	無料	創寛会(岡部) ☎0568-85-9623
2月27日(水)～3月9日(日)	平成19年度第4回春日井市収蔵美術品展	9:00～17:00	無料	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
3月11日(火)～16日(日)	第6回写研春日井写真展	9:30～17:00(最終日16:30まで)	無料	写研春日井(上原) ☎0568-32-0151
3月18日(火)～23日(日)	第5回デジタルフォトあゆみ写真展	9:00～17:30	無料	デジタルフォトあゆみ(西井) ☎0568-81-7919
3月25日(火)～30日(日)	第17回デリシャスα4野々川デコパージュ・アートリュミエール展	10:00～17:00(最終日16:00まで)	無料	デリシャスα4野々川(野々川) ☎090-2686-3633



開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
2月9日(土)	ことば磨いて20年	13:00～16:00	要整理券	ことばリフレッシュの会 ☎0568-84-8685
2月11日(月・祝)	本田美奈子フィルムコンサート	①11:00～ ②14:30～	1,000～500円	春日井ライオンズクラブ事務局 ☎0568-81-8455
2月16日(土)	第14回 文化講演会	13:30～15:00	要申込み	春日井市美術協会・春日井市文化協会(後藤) ☎0568-31-8517
2月24日(日)	第46回かすがい芸術劇場「うめ吉トーク&ライブ」	14:00～16:00	完売	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
3月1日(土)	第2回エンジェル・キッズ ピアノ発表会	14:00～16:30	無料	エンジェル・キッズ(谷崎) ☎090-2264-5739
3月9日(日)	春日井市交響楽団室内楽演奏会	15:00～19:00	無料	春日井市交響楽団(宮田) ☎0565-76-2412
3月15日(土)	Primavera ピアノ発表会	14:00～16:15	無料	Primavera(小川) ☎0568-82-8893
3月16日(日)	第47回かすがい芸術劇場 映画「永遠のマリア・カラス」	14:00～15:50	完売	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
3月23日(日)	プチ・ミュージック音楽教室発表会	未定	無料	プチ・ミュージック(川瀬) ☎090-9125-7828
3月27日(木)	Ant Man 二匹の蟻のパラダイス	①14:00～15:50 ②19:00～20:50	2,500～1,800円	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868



開催日	催物名	時間	料金	主催・問合せ
3月29日(土)	アトの春祭り	10:00～16:45	無料	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
3月30日(日)		11:00～16:45		

開催日	催物名	開催時間	料金	主催・問合せ
2月3日(日)	第24回民謡うたはじめ	10:30～16:00	無料	春日井市民謡協会(伊藤) ☎0568-88-5068
2月8日(金)	市制施行65周年プレ事業 ふるさと自慢うた自慢	17:40～20:00	要申込み	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
2月9日(土)	優秀映画鑑賞推進事業 名作シネマ鑑賞会	①10:00～ ②13:00～ ③16:00～	各回500円	
2月10日(日)		①10:00～ ②13:00～		
2月11日(月・祝)				
2月16日(土)	こころのバリアフリー・市民のつどい in 春日井	13:00～16:30	無料	特定非営利活動法人で・らしえん(可児) ☎090-9946-2400
2月24日(日)	マリコバレエ教室 第14回バレエ発表会	15:00～17:00	無料	マリコバレエ教室(岩崎) ☎0568-91-8800
3月2日(日)	第25回日本舞踊鑑賞会	13:00～16:00	4,000円	(財)かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868
3月9日(日)	子育てママに春一番プレゼント!!～ご一家で楽しいひとときを～	14:00～16:30	500円	春日井市文化課(中山) ☎0568-85-6079
3月16日(日)	第9回成瀬ひろみバレエスタジオ発表会	①13:00～15:30 ②17:00～19:30	1,000円	成瀬ひろみバレエスタジオ(成瀬) ☎0568-56-3416
3月20日(木・祝)	春日井音楽院第29回演奏会	12:00～15:40	無料	春日井音楽院(花井) ☎0568-83-4902
3月23日(日)	第17回高蔵寺高校吹奏楽部定期演奏会	13:30～15:30	要整理券	高蔵寺高校(浅井) ☎0568-92-9000
3月29日(土)	春日井西高校吹奏楽部第18回定期演奏会	13:30～15:30	要整理券	春日井西高等学校(橋本) ☎0568-32-9631
3月30日(日)	春日井児童合唱団第17回定期演奏会	14:00～16:30	500円	春日井児童合唱団(奥村) ☎090-9661-7566

※1月15日号の広報 春日井に掲載された「第24回民謡うたはじめ」の会場に誤りがありました。正しくは「春日井市民会館」となります。慎んでお詫び申し上げます。

[PR]
第15回パレットハウス
「創寛会洋画選抜展」

入場
無料

2月19日(火)～24日(日)
10:00～18:00(最終日17:00まで)
文化フォーラム春日井・ギャラリー

老若男女、どんな人でも芸術を楽しみたい方の集まる“パレットハウス”。そんなパレットハウスに集う、講師・塾生による洋画部門選抜展を開催します。会員32名による小品から大作まで、約50点を展示。是非ご覧ください。

[出品者]西尾為一(顧問)

安藤育子 安藤友南 池野圭子 石黒郁美
犬童マス子 岡部寛治 尾関まさ子 小原芳子
片桐由妃 加藤千恵子 河上育子 小山克美
後藤 勉 柴田幹子 清水せい子 鈴木英機
武田みち子 都築 廣 中川武雄 成瀬君江
西島正人 野浪哲子 長谷川まり子
長谷川弥生 浜谷真知子 馬場雅子 水野和代
水野ふさゑ 三ツ木さち子 山田 昇 山田泰良

[後援]

春日井市／春日井市教育委員会／中日新聞社

[問合せ]創寛会(岡部) ☎0568-85-9623



昨年の展覧会風景より

第9回自分史シンポジウム 旬は、今

12月16日(日) 13:30~16:00 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

市をあげて自分史活動をバックアップしている春日井市で、「自分史シンポジウム」が開催されました。9回目となる今年は、ゲストに直木賞作家・山本一力氏をお招きし、ご自身の波乱万丈の人生を振り返って、書くことの大切さなどについてお話いただきました。

シンポジウム第1部 ディスカッション 人生を味わう“自分再発見”



プログラムを使って「イエス・ノー」を答える会場のお客さま。それらの意見をディスカッションに反映していきます。



「大学生にも自分史を書くことを勧めている。自分を見つめなおすことに年齢は関係ない。未来というのは過去の中に芽があるのだから。」と久恒・宮城大学教授。



「書くことによって自分と素直に向き合える。昨年、かすがいエッセイクラブに入会し、多くの人と話をしながら自分史を書くことの面白さや大切さを感じている。」と市民代表の乙村正氏。



司会の浅井栄子氏からの「今後、自分史を書いてみたいですか?」という問いに、会場のほとんどが「イエス」と回答。予想以上の反響に驚くパネリストたち。



シンポジウム第2部

「山本一力氏講演 生き方雑記帖」

「莫大な借金を抱え、賞にも落選してしまったときの悔しさや、母親を亡くしたときの辛さを、日記に書き留めてきた。何年か経ってもう一度読み直すと、苦味がとれエキスとなっている。それは自分だけの宝物だ。言葉はその時の情景も思い出せるツール。逃げずに、今心の中にあるものを書いてみよう。」「人生の甘さ、苦さを味わうようになるには、時間が必要。団塊世代は、知恵・経験・気力・時間もたっぷりある。これから先も書き続けていこう。」など、心に響くお話を聞かせてくださいました。終演後、山本一力氏に「書き続ける秘訣」を教えてくださいました。「一行」で済むことを書く。今日は何を食べたか、誰と会ったかなど、思い出すきっかけとなることを書いてみる。まずは一行から、続けてみよう。」



関連講座「ライフデザインへの大いなるヒント～人生を訪ねる旅から」

久恒啓一氏による講座では、偉人たちの残した言葉をヒントに人生を豊かにするポイントを教えていただきました。「偉人の人生から“人生の停滞期”は55～60歳であると気付いた。人生80年時代なら、60歳にして新しいテーマを探し、中年の危機を脱してほしい。」など、年配の方々に勇気を与えるお話をしてくださいました。



交流アトリウムに巨大年表出現!

交流アトリウムでは、市内7団体の自分史サークルとボランティアグループの皆さんが、日頃の活動を紹介するパネルをつくり、来場されたお客さんとの交流が行われていました。また、1936年から現在に至る、全長5.4mの巨大年表が登場。時代を代表する出来事の本が貼られた年表の上に、自分の思い出を書いたカードを貼っていくという、ユニークな試みが行われました。



11月23日(金・祝) 18:00~20:00
春日井市民会館

コンドルズ

Let's Go Crazy tour 2007 秋
[春日井スペシャル公演]

SKY HIGH

終演後、メンバー自らグッズ販売し大繁盛! ファン1人1人と会話を楽しむコンドルズ。アットホームな雰囲気人気の秘訣。

ダンスカンパニー・コンドルズによる愛知県初のツアー公演を、春日井市民会館で開催。「SKY HIGH」のタイトル通り、高いジャンプ、突き抜けるテンション、ハイスピードなステージで観客を魅了しました。



大音響の中で披露されたオープニングダンス。スポットライトに浮かび上がるダンサーの身体と、緻密に計算された影が美しい。



一転、ビタビタの白い衣装で登場。身体全体を使った無声コント。



学ランを衣装にステージを舞う姿こそ、コンドルズの真骨頂。ロック音楽と一緒に繰り広げられるダンスパワーに心ときめき、シュールで痛快なコントに会場が湧く。このめくるめく魅惑のステージに勝るものなし!



近藤良平氏のソロ。笑いに満ちていたホールが、息遣いが聞こえるほどの静寂な空間に。圧倒的なパフォーマンスに息を呑む観客。

第44回かすがい芸術劇場

ギターデュオ・いちむじん クリスマスコンサート

12月15日(土) 14:00~16:00 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

23歳の若手ギターデュオ・いちむじんのクリスマスコンサートが開催されました。空気の澄んだ冬のホールにクラシックギターの重奏が響き渡り、お客さんもおもわずうっとり。クリスマスソング、クラシックの名曲に加え、和のテイストを取り入れたオリジナル曲も披露しました。



高校時代から一緒に演奏してきた、いちむじんのふたりの息はぴったり。ギターをはじめからわずか4年で日本重奏ギターコンクールで優勝した実力を披露。



伊勢神宮の神域で演奏された、癒しの曲「五十鈴川」を演奏。人を包み込むような温かさのある不思議な曲でした。



軽快なトークで観客を沸かせる山下さん。一方、独特のおっとりしたトークで山下さんにつっこまれる宇高さん。名コンビですね。



特殊な奏法が多いのもギターの魅力。今回のコンサートでも、ギターを叩き演奏するシーンが見られました。またアンコールでは「よさこい変奏曲」を披露。高知県出身の二人ならではの、ギター技巧&地域色満載の曲に、お客さんも大盛り上がりでした。

REPORT

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットの電話予約について

①お電話ください。

PiPi会員の方 (受付時間 9:00~17:00)

→PiPi会員電話先行予約(専用)

TEL.0568-85-6078

※会員電話先行予約日のみ、先行予約を受付けます。

一般のお客様 (受付時間 9:00~20:00)

→チケット電話予約 **TEL.0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受付となります。

●全席指定チケットの電話予約については、座席の指定ができませんので、ご了承ください。

●文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

②チケット受取り方法を選択してください。

1. 文化フォーラム春日井・文化情報プラザにてお受取り

チケット料金とお引換えください。お取り置き期間は、一般発売日から2週間以内です。

2. 代金引換にて、ご自宅でお受取り

郵便配達にてご自宅にチケットをお届けいたします。

チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。

※チケット代金の他に、代金引換手数料として500円程度をご負担していただきます。

■チケット発売初日の販売時間について

・文化フォーラム春日井・文化情報プラザ 窓口販売 9:00~

・かすがい市民文化財団 電話予約(代金引換含む) 10:00~

・チケットぴあ スポット&電話予約(Pコード予約) 10:00~

コンビニでの直接購入 12:00~

※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

※前売完売の場合、当日券はありません。 ※一部の事業を除いて、20枚以上同時購入されると1割引になります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドは対象外)
 ※友の会PiPi会員価格でのチケット購入は、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、及び代金引換のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドは対象外)

友の会PiPi 提携ショップ一覧 (2008年1月1日現在)

レストランバー Lime Stone

サービス 飲食代金の20%引き
 鳥居松町4-2 バードフォービル1F ☎0568-85-3559

マクドナルド鳥居松店・春日井清水屋店

サービス ドリンクMサイズまたはホットドリンクを100円で提供(3名まで)

FUTURO cafe+dining

サービス 飲食代金の10%引き
 柏原町5-312 ☎0568-57-2422

ギャラリー・ティーサロン われもこう

サービス 飲食代金の5%引き
 鳥居松町3-42-1 ☎0568-81-4824

洋食ダイニング オガッシ

サービス デザートサービス
 瑞穂通4-62 コーポエトワール1F ☎0568-84-7625

移動カフェ dufi (H) cafe

サービス 飲食代金の10%引き(ランチ500円のみ)
 名古屋市中区栄3-23-10 ヴィレッジヴァンガード前 ☎090-9937-8796

創作会席 茶寮 雅の里

サービス ドリンク1杯サービス
 小牧市小針1-115 ☎0568-75-0882

いわま楽器

サービス 初回お買上げ時に10ポイントサービス
 鳥居松町7-48 ☎0568-81-7579

丸十伊藤書店

鳥居松町6-5 ☎0568-81-2510

とりとり亭 勝川駅前店

サービス 飲食代金の15%引き(10名まで、最高5,000円割引)
 勝川町6-151 ☎0568-31-6263

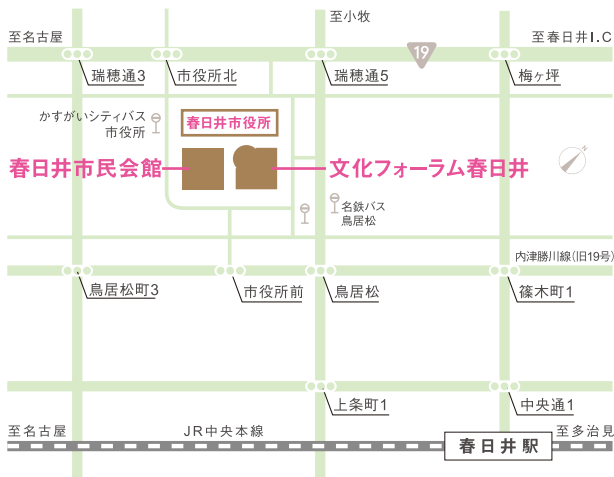
カフェ 百時

サービス 飲食代金の5%引き
 鳥居松町6-50-3 プラザ川久1F ☎0568-81-0640

移動カフェ BERGEN

サービス 飲食代金の10%引き
 尾張旭市狩宿町こみかるはうすベルコート店前 ☎090-7613-5161

※サービス内容に変更がある場合がございますので、ご了承ください。※友の会PiPiについては、友の会PiPi事務局 ☎0568-85-6078までお問合せください。



文化フォーラム春日井／春日井市民会館

<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 春日井市鳥居松町5-44

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日

交通のご案内

駐車台数に限りがあります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

●JR中央本線「春日井駅」北口より

一名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分

一北へ徒歩約20分

一レンタサイクル(無料)で約5分

●かすがいシティバス施設連絡線でお越しの方

一「市役所」下車、南へ徒歩2分

●お車で越しの方

一文化フォーラム春日井 地下駐車場をご利用ください。

発行 財団法人かすがい市民文化財団
 486-0844 春日井市鳥居松町5-44
 文化フォーラム春日井 TEL.0568-85-6868
 編集&制作: 財団法人かすがい市民文化財団
 表紙写真: 山田 匡